

製品名: MP2K1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86035**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|-------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000,FC 1:25-1:50 |
| 分子量 | 43.4kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | MP2K1 |
| 別名 | Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 1, MAP kinase kinase 1, MAPKK 1, MKK1, 2.7.12.2, ERK activator kinase 1, MAPK/ERK kinase 1, MEK 1, MAP2K1, MEK1, PRKMK1 |
| 遺伝子 ID | 5604.0 |
| SwissProt ID | Q02750 |
| 免疫原 | この MP2K1 抗体は、ヒト MP2K1 の 1 ~ 393 アミノ酸からなる組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。 |

背景

MAPキナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能する二重特異性タンパク質キナーゼ。成長因子、サイトカイン、ホルモンなどの細胞外リガンドが細胞表面受容体に結合するとRASが活性化され、RAF1の活性化が開始されます。RAF1はさらに二重特異性タンパク質キナーゼMAP2K1/MEK1およびMAP2K2/MEK2を活性化します。MAP2K1/MEK1とMAP2K2/MEK2はどちらもMAPK/ERKカスケードにおいて特異的に機能し、細胞外シグナル制御キナーゼMAPK3/ERK1およびMAPK1/ERK2に存在するThr-Glu-Tyr配列中のスレオニン残基とチロシン残基の同時リン酸化を触媒します。これにより、MAPK/ERKカスケードにおけるシグナル伝達が進められます。この経路は、細胞の状況に応じて、主に転写、代謝、細胞骨格の再編成を制御することにより、細胞の成長、接着、生存、分化といった多様な生物学的機能を媒介します。MAPK/ERKカスケードの標的の一つは、分化とアポトーシスを促進する核内受容体であるペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 γ (PPARG)です。MAP2K1/MEK1はPPARGを核から排出することが示されています。MAPK/ERKカスケードは、リソソームの処理や核周縁リサイクリングコンパートメント (PNRC) を介したエンドソーム循環など、エンドソームの動態制御、そして有糸分裂中のゴルジ体の断片化にも関与しています。

研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、mTORシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

画像データ

全レーン：抗MAP2K1抗体 (1:4000希釈)

